

頭部および頸部の放射線治療を受ける方へ

気になること、不安なことがあれば我慢せずにスタッフにご相談ください。

1.治療中の変化について

① 脳のむくみ

治療後は一過性に脳がむくむため頭痛やめまい、吐き気などの症状が出ることがあります。一時的なものです。我慢せず、スタッフにご相談ください。

② 治療範囲の痛み、発熱

放射線による炎症が発生し、治療範囲に痛み、発熱がでることがあります。またけいれんの起こる可能性があります。

③ 口内炎、口の乾燥、唾液量の減少、声のかすれ

口の中の粘膜が炎症をおこし、口の中が痛んだり、ひりひりとする場合があります。また唾液の分泌が悪くなって、口の中がねばねばすることがあります。場合によっては一時的に味覚の変化が現れることがあります。治療後、次第に改善されます。声がかすれたり、出にくくなる場合があります。このときはできるだけ声を出さずに、安静にしてください。

④ 治療範囲の皮膚、脱毛

治療範囲の皮膚が赤くなったり、熱を持ったり、かゆくなったり、乾燥、日焼けしたようになることがあります。治療範囲の毛が抜け始めることがあります。まばらに抜けたりすることはありますが、一時的なものになり、数ヶ月で生え始めます

2.日常生活での注意事項について

① 固定具が合わなくなるために固定具作成後の散髪はできません。

② できるだけ水分の多い食べ物(おかゆ・おじやなど)をとりましょう。

③ 治療中、次のものは口の粘膜を傷つけるおそれがあるので、絶対に控えましょう。

酒・タバコ・辛いもの・固いもの・熱すぎたり冷たすぎるもの・酸味の強いもの(梅干し・みかん・レモンなど)

④ うがいを頻繁にして、口の中を清潔にしましょう。やわらかい歯ブラシなどで歯をきれいにしてください。

⑤ 洗うときはぬるま湯を使い、刺激の少ない石鹸で優しく洗いましょう。

⑥ 髪の毛を染めたり、パーマをあてることは控えましょう。

⑦ 髭剃りは電気カミソリを軽く当てて使い、直接肌に刃があたるカミソリは使わないようにしましょう。

⑧ 首周りのきつい衣服は避けてください。

⑨ 直射日光は皮膚に負担をかけるので外に出るときは帽子、スカーフ、マフラーなどをかぶりましょう。

⑩ 治療期間中の歯科治療については医師に相談ください。(血がでるような処置はさけてください)

治療終了後

- 数週間から数ヶ月後

皮膚、粘膜の炎症による発赤や潰瘍で痛みが出ることがあります。

- 数ヶ月から数年後

周囲に壊死や浮腫、血管の閉塞が起きることがあります。

頸部、口腔、鼻腔などの場合では粘膜、皮膚の潰瘍、骨壊死等が起きる可能性が有ります。

- 10年以降

放射線が当たった部分に、髄膜腫や脳腫瘍が出来たとの報告がありますが、これらが発生する可能性はきわめて低いです。(0.01%程度)

重症化することもありますので、治療後も定期的に診察を受けて下さい。

宇都宮セントラルクリニック

放射線治療センター

TEL 028-657-6700

FAX 028-657-6702

(平日 9時～16時 30分)